

一般会計決算総括質疑通告書

令和4年8月31日

議会議長様

会派名 政

議員氏名 野口俊彦

質疑事項	質 疑 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 町税収納状況は	令和3年度の町税確保について、以下、伺います。 (1) 自主財源の根幹となる町税の収入済額は、57億5,929万9,207円となり、前年度比1億1,249万8,876円、1.92%の減収となった。課税対象となる令和2年は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、地域経済に打撃を与えた年であると認識しているが、新型コロナウイルス感染症が税収に与えた影響をどのように分析しているのか。 また、他に減収となった要因はあるのか。 (2) 町税の収納率は、前年度に引き続き現年課税分において、ほぼすべての税目で上回っているが、収納率アップの要因とその評価は。 また、滞納繰越分については、前年度比5.05%上昇しているが、どのように分析しているのか(どのような対策を施し、このような結果を導くことができたのか)。 (3) 不納欠損額は前年度比、190万3,798円、12.56%の増額となっている。税負担の公平性の観点からすれば疑問が残る点であるが、どのように分析しているのか。 また、その要因は一時的なものと捉えているのか。	町長 副町長 担当課長

8月31日 午前・午後 1時40分 受理

質疑事項	質 疑 要 旨	指 定 答 弁 者
2. 不用額の対応策は	令和3年度の不用額は、5億7,968万5,761円となり、前年度比7,886万9,060円、15.75%の増額となり、当初予算の4%以上に及んでいる。不用額は年々増加する傾向にあり、特に民生費、衛生費、教育費において多いようである。結果として不用額が多くなってしまった原因をどのように分析し、検証しているのか。 また、限りある財源を有効かつ効率的に活用するため、不用額が生じた際には積極的に減額補正に努め、住民の福祉の向上のために振り替えるべきと考えるが見解は。	町長 副町長 担当課長
3. 公共施設改修基金の積み立て方法は	公共施設改修基金への積立額は、令和2年度2万7,064円、令和3年度1億9,024万3,236円で前年度比1億9,021万6,172円の増となり、大幅な増額となった。基金への積み立ての財源は、基金の利子及び財産売払収入などもあるが、大幅な増額となった要因は何か。 また、基金は公共施設の改修に要する経費の財源にあてることを目的に設置され、当初の計画では全体で10億円程度の積立を目安とするとの見解であった。 しかしながら、今後新庁舎の整備に向け、多額の財源確保に努める必要があると考える。基金積立総額の見直しについて検討されたのか。	町長 副町長 担当課長
4. 令和3年度の事業評価は	令和3年度は「第6次総合振興計画」、「第2期杉戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略」さらには「第7期杉戸町行政改革大綱」など、新たな計画に掲げた目標の実現に向けスタートした年であった。令和3年度における事業執行に対する評価は。 また、当初予算編成では、職員一人ひとりが目指す目標を認識したうえで、創意工夫を図り目標達成のための施策を立案、実行していく「全職員で考え、行動する、新しい杉戸町づくり」を推進するとしていたが成果は。	町長 副町長 担当課長

質疑事項	質 疑 要 旨	指 定 答 弁 者
5. 新型コロナウイルス感染症対策の総括は	新型コロナウイルス感染症は、これからも新しい株の流行などが予測され、住民の生命と財産を守る自治体として、先の見えない状況の中で命と暮らしをどう守り支援していくのかは大変重要な課題である。令和3年度における新型コロナウイルス感染症対策は万全であったのか。評価と課題について伺います。	町長 副町長 担当課長